

写真 サテライトの個室

すべての居室にトイレ、洗面台、収納が設置されている。

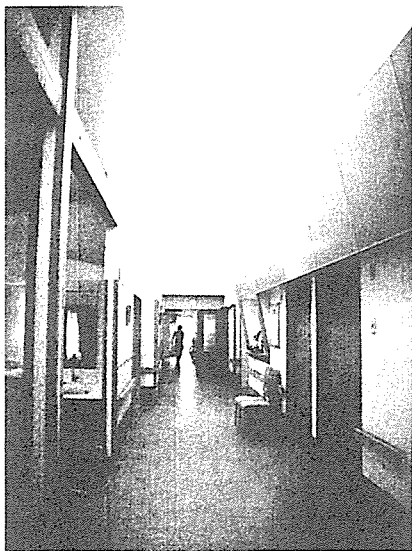


写真 小規模多機能廊下

廊下部分は天井が高くトップライトがついている。通り（デイサービス）の空間とは天井高さ、柱によって境界を作っている。



写真 厨房

厨房では、サテライト、小規模多機能、配食サービスの食事が作られる。平均して1日100食程度が作られる。



写真 小規模多機能の通いスペース

ウッドデッキと外部の2面の採光が確保されている通いスペース。

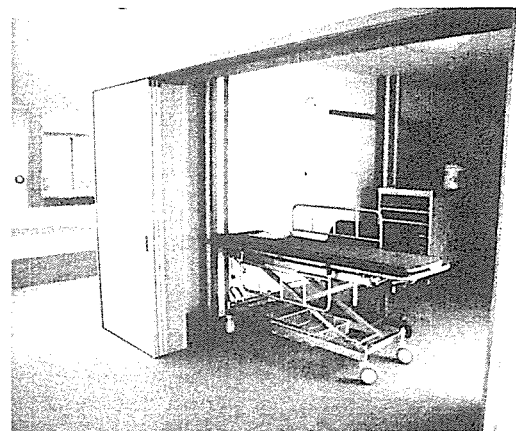


写真 小規模多機能の静養室

通いスペースと隣接して夜間に泊まることができるスペースが作られている。

1. 本体施設の概要について

1	名称	特別養護老人ホーム こぶし園
2	所在地	新潟県長岡市深沢町2278番地8
3	開設年	1982年4月1日
4	建物階数	地上:3階
5	併設サービス	重症心身障害者(児)施設、デイサービス、ショートステイ、別棟には医療施設など複数の施設がある
6	敷地面積	1972m ²
7	建築面積・延床面積	建築面積: 延床面積:
8	都市計画区域区分	市街化調整区域、建蔽率70%、容積率200%
9	建物の構造	RC造
10	平均要介護度	4.13
11	ホテルコスト	多床室: 9600 円/月(320円/日)

2. 改修の全体像

<p>本体施設は新耐震基準以前の建築物であるため、場合によっては大規模な補修も必要となり、今後は残り4つの地区にサテライトを建設し、本体施設の定員をゼロにしていく予定である。現時点でサテライトに転出した空き居室は、空部屋が(3部屋)、1人で利用している部屋が1部屋となっている。</p>

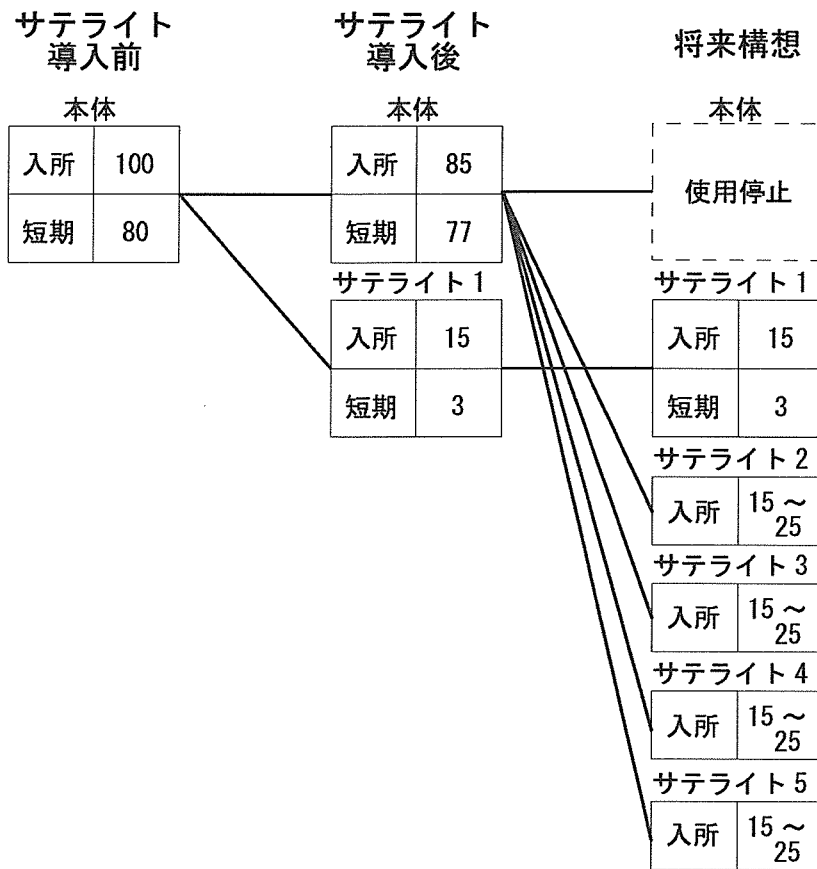
3. 改修の状況

年	内容

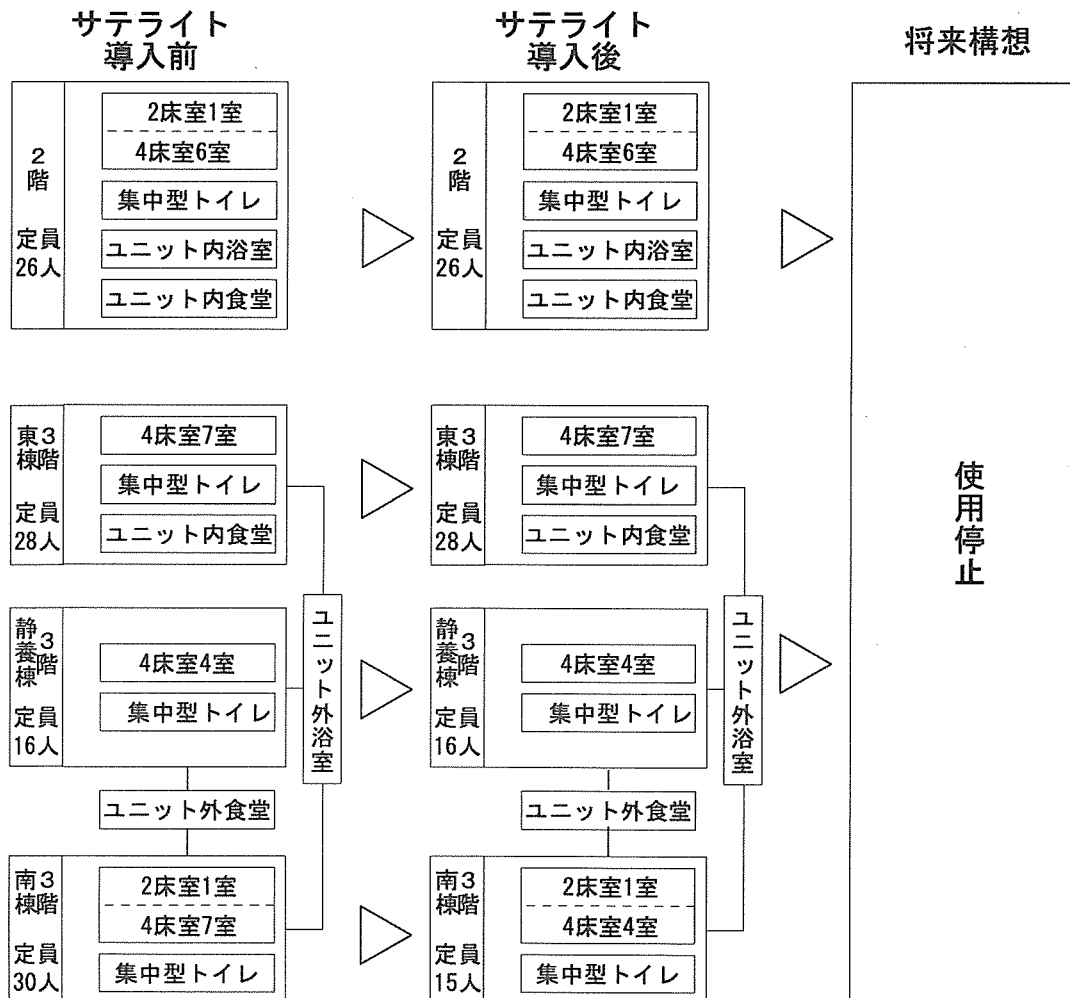
4. ソフト・ハードの概要

		改修前				改修後			
ソフト	定員	入所:100名 短期入所:80名				入所:85名 短期入所:80名			
	ユニット数	合計:4ユニット				合計:4ユニット			
	入所定員	16人:1ユニット、26人:1ユニット 28人:1ユニット、30人:1ユニット				16人:1ユニット、26人:1ユニット 28人:1ユニット、15人:1ユニット			
	職員配置 入居者:看護+介護職員	():1				2.1:1(サテライトも含めて)			
ハード	居室	個室	2床室	4床室	その他	個室	2床室	4床室	その他
		0	2	24		0	2	20	1(4床室に1人)
	改修内容	各部屋には洗面が設置されている。				転出分(15人分)は南棟に集め、空き部屋が3部屋(4床室)、1人で使用しているのが1部屋(4床室)となっている。			
食堂	ユニット毎の有無	食堂は集中型ではなく、各ユニットに分散されている。トイレは各ユニットに1箇所集中型で配置されている。							

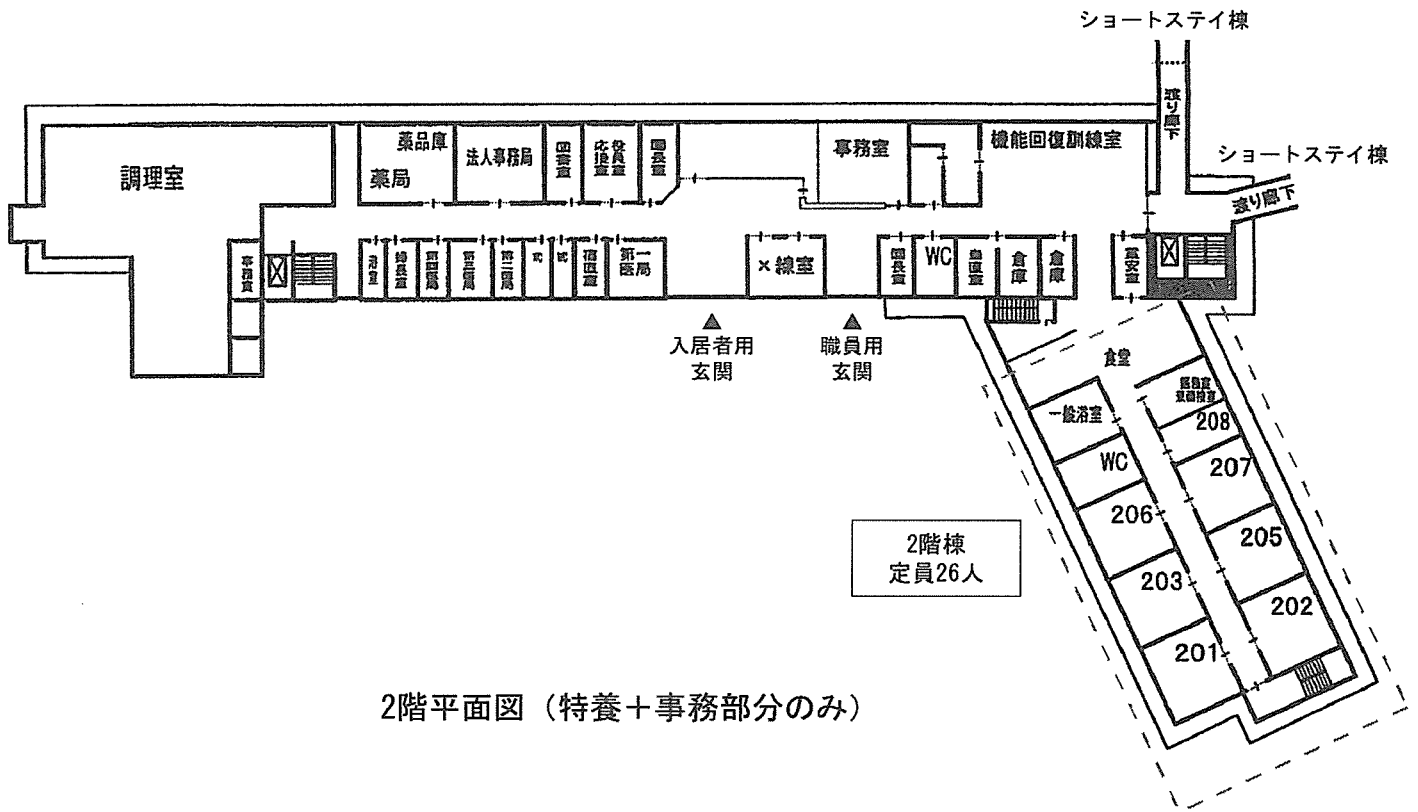
図表 1-7 本体施設の概要



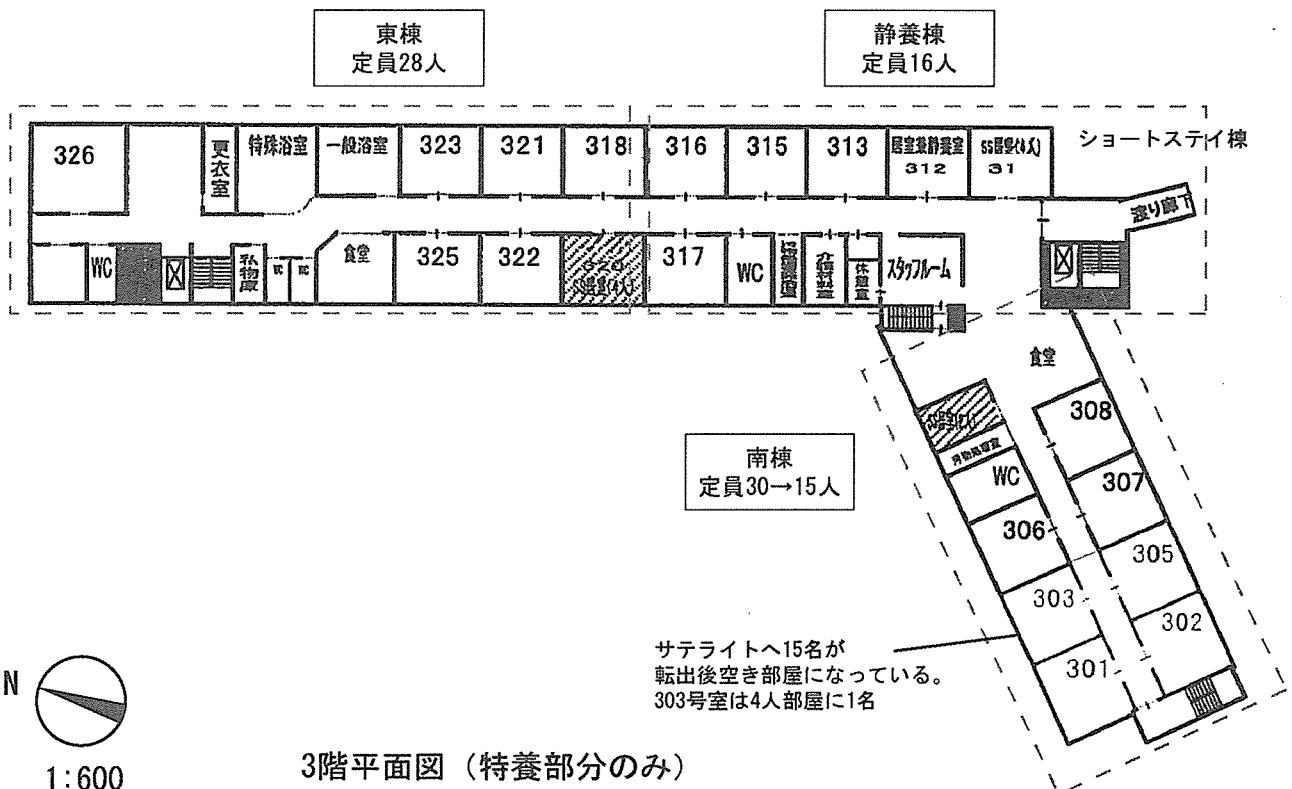
図表 1-8 サテライトへの展開の概要



図表 1-9 本体改修の概要



2階平面図 (特養+事務部分のみ)



3階平面図 (特養部分のみ)

図表 1-10 本体施設の平面図 1/600



写真 4床室

各ベッドとの間には簡単な間仕切りが設けられている。



写真 空き部屋の居室

サテライトへの転出分の居室は空き部屋となっている。

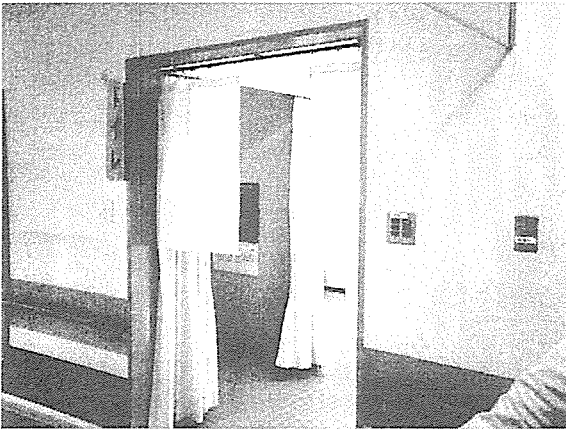


写真 トイレ

トイレは集中配置になっており、入り口は簡単なカーテンのみである。



写真 食堂

建設当時から2つのウイングの中心部に食堂が設けられている。



写真 廊下部分

両側に居室が配置され中廊下式になっている。廊下幅は広く、長尺ビニルで覆われている。



写真 特養ゾーンへの入り口

渡り廊下と特養ゾーンの境界は簡単なドアのみで区切られている。

調査事例 2 社会福祉法人 恵仁福祉協会	本体施設名	特別養護老人ホームアザレアンさなだ
	サテライト施設名	アザレアン大畑サテライト

法人の概要

本体施設であるアザレアン真田は、1993年に人口約1万1千人、高齢化率24%の中山間地域である長野県小県郡真田町（現在、上田市真田町）に開設された。アザレアン真田では、自宅か施設の選択ではなく、24時間365日のサポートを受けながら、高齢者が自分らしく継続していくためのサービスを理念としており、サービスの選択肢を増やすべく開設から毎年少しずつ施設機能の拡充や地域展開を図ってきている。

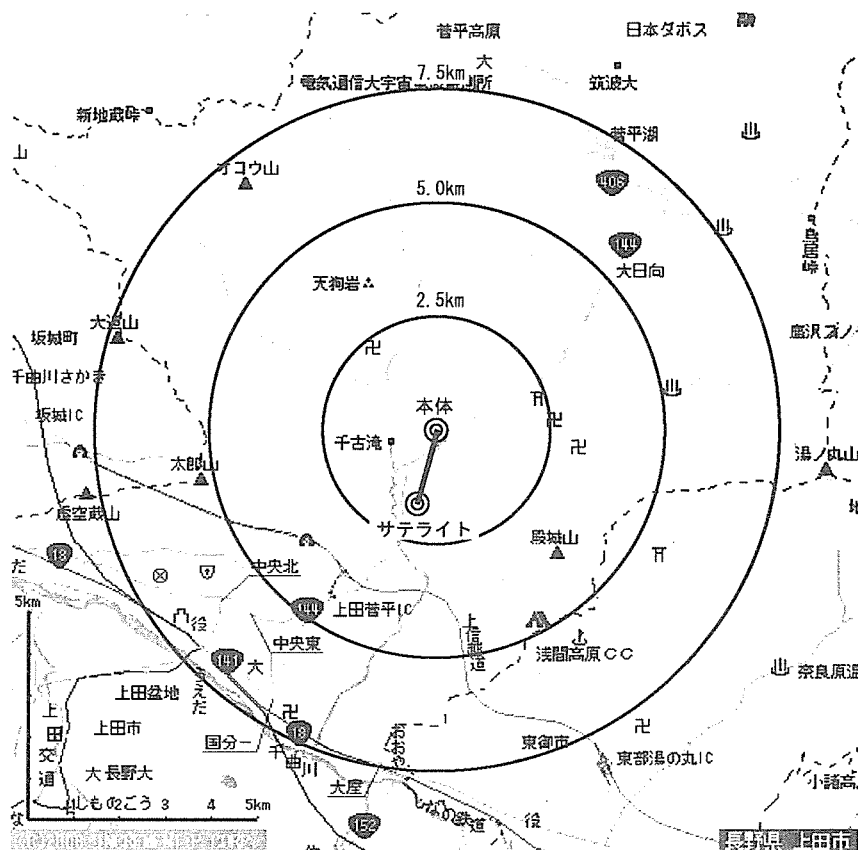
地域展開の特徴は、①エリアを決めて提供していること、②24時間365日の宅配型サービスを提供していること、③居住型、通所型、多機能型のサポート環境を町内に構築したこと、④できる限り既存の資源を活用し、新設によるイニシャルコストを抑えたことにある。現在では、高齢者の人のつながりや生活動線に考慮し、町内を4つの小学校区（旧村単位）に分けてサービスを提供している。地域の人口規模・構成によって差はあるが、デイサービス3施設、民家改造型宅老所2施設、グループホーム3施設が既に整備されている。

今後は、平成18年から20年に本体特養のサテライト施設をさらに建設し12名を地域に戻すことに加えて、グループホームを6床建設する予定である。

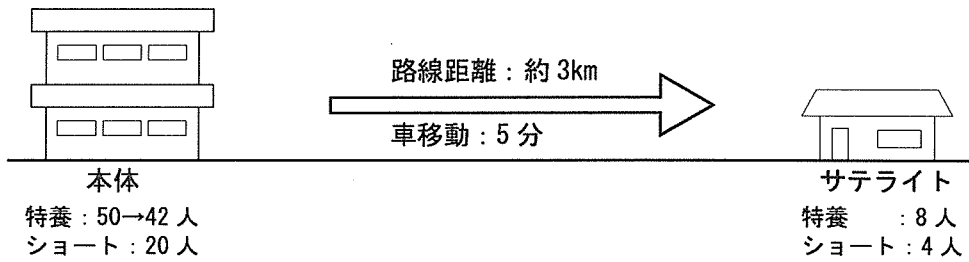
本体およびサテライトの立地と位置関係

本体施設は真田町の中心地に位置し、鉄道の最寄り駅である上田駅からは車で20分のところにある。施設は山間部であるが真田町の中心地域にあり、周辺は農業を主体とした地域である。

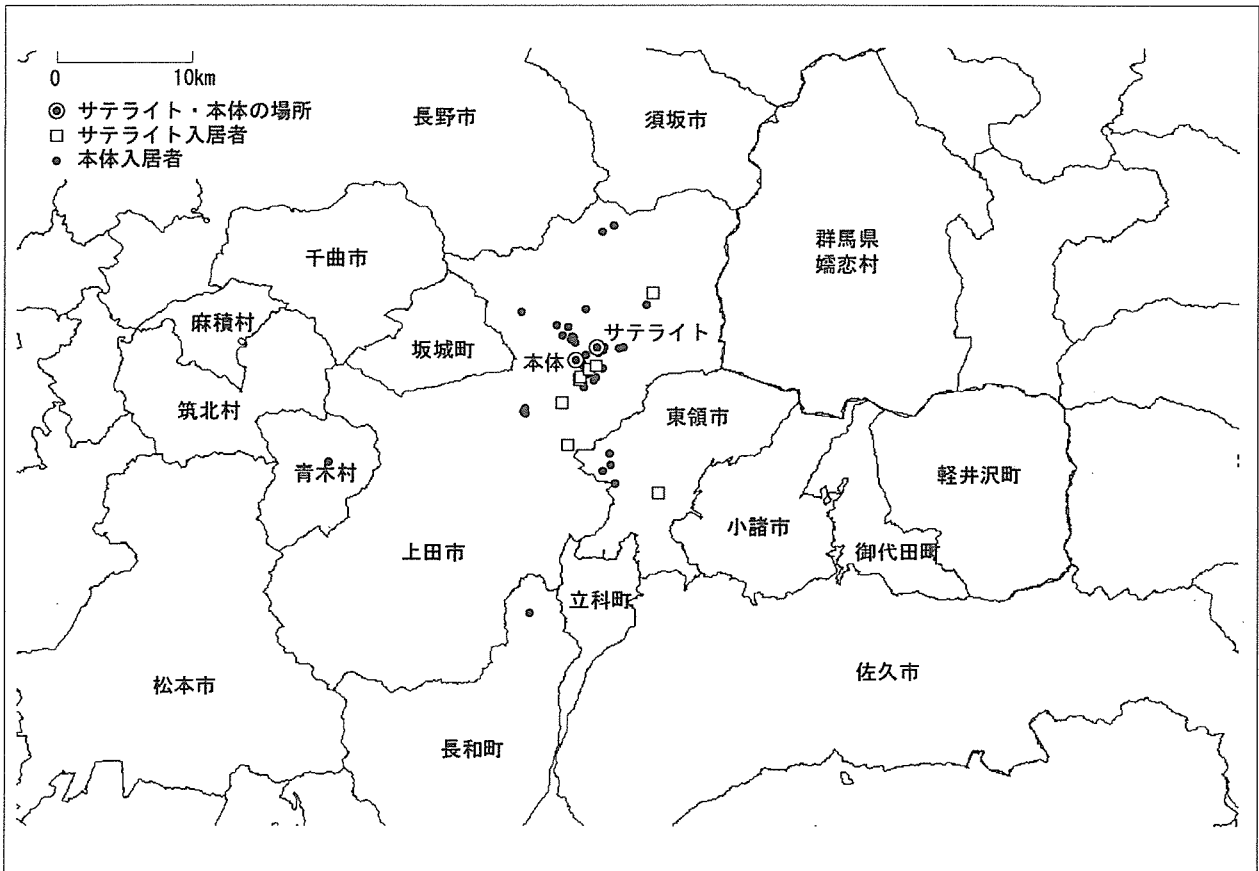
サテライト施設は、本体から車で5分程度（直線距離で約2キロ）の場所にある。周辺は住宅地であり、本体施設、サテライト施設双方とも町の中心部にある。



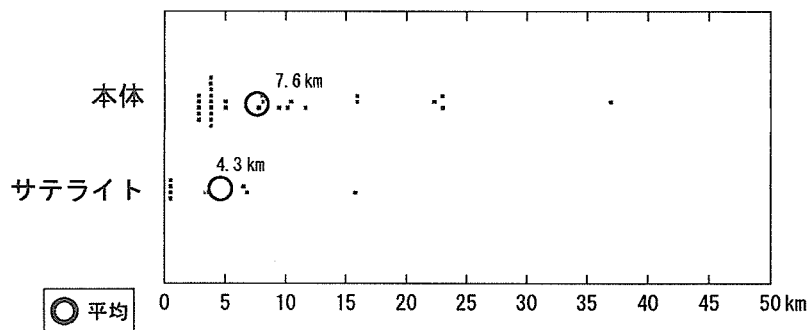
図表 1-11 本体およびサテライトの位置とその関係



図表 1-12 本体とサテライトの距離



図表 1-13 入居者の前居住地の分布



図表 1-14 本体およびサテライトと前居住地の距離

1. サテライト施設の概要について

1	名称	アザレアン大畑サテライト	
2	開設年	2005年11月1日	
3	所在地	長野県上田市真田町大字本原772-2	
4	本体との距離	路線距離:約3km 移動時間:車5分 徒歩:30分	
5	建物階数	地上:1階	
6	敷地面積	2523.87㎡	
7	建築面積・延床面積	建築面積:554.85㎡ 延床面積:555.18	
8	都市計画区域区分	都市計画区域外	
9	土地・建物の所有形態	土地:賃借 建物:賃借	
10	建物の構造	木造(準耐火)	
11	併設サービス	小規模宅幼老所(小規模多機能サービス拠点の申請中,2006年10月時点)	
12	建設費	建設費用	1.4億円程度(オーナー負担)
		うち交付金額	なし
	リース代	土地建物合せてサテライト115万、小規模多機能55万、合計170万円/月	
	ホテルコスト	59,100円/月(1,980円/日)	
	食費	41,400円/月(1,380円/日)	
13	定員数	入所部門:8人、短期入所部門:4人	
14	平均要介護度	3.9	
15	ユニット数	1ユニット	
16	ユニット定員	12人×1ユニット	
17	職員配置	入居者:看護+介護職員 2.17:1	
18	介護職員	常勤7人	
19	日中の介護職員の勤務シフト	1ユニットで固定	
		早出:7時半~16時半 日勤:8時半~17時半(1ヶ月の2/3程度、リーダーのみの勤務) 遅出:13時~21時 準夜勤:15時~24時 深夜勤:0時~9時	
20	1ユニットの職員数(標準)	朝食時:2人、昼食時:1~2人、夕食時:2人	
21	夜勤の勤務体制	1ユニット(12人)で1人	
22	夜勤の勤務時間	8時間	

2. サテライトと本体との協力関係

1	全般	施設長	本体と兼務
		生活相談員	本体と兼務
		事務員	本体と兼務
2	医療	医師	本体と兼務(本体と同じ嘱託医が担当)
		看護	本体と兼務(訪問頻度:毎日1名が常駐) 4名の看護職で本体とサテライトをカバー。内、1名がサテライト勤務。
3	食事	栄養士	本体と兼務
		調理員	サテライト専属
		調理方法	サテライトのユニットで食事を全て作る 7時から19時まで常に1名の調理員を配置(3名でシフト) 調理員は配膳から片付けまでを行い、共用部分の掃除なども行う 献立は本体、食材は業者に依頼し別々に配送。 検食は本体。
4	協力上の特徴	1.看護:利用者の継続的な状況把握のためにサテライト担当職員は固定。 シフトは本体に組込まれるが勤務時間はサテライトに常勤。 小規模多機能開始後はシフト・勤務時間ともにサテライトに固定予定。 2.調理:サテライト内で行う。 3.事務:LANを用いて本体で行う。	

図表 1-15 サテライト施設の概要

3. サテライト導入の経緯

- ①利用者の生活空間の居住性を良くしたい。
- ②小規模多機能居宅介護サービスと組合せて経営・運営することによるメリット。
- ③在宅サービスに入所機能を併設させることで、入所機能と地域の接点が日常生活圏に内包される。
- ④本体に隣接した土地を購入するよりも別敷地で土地所有者に建物を建設してもらう方がイニシャルコストがかからず介護サービスに注力できる。

4. サテライトへの転居が入居者・家族・地域住民に与える影響

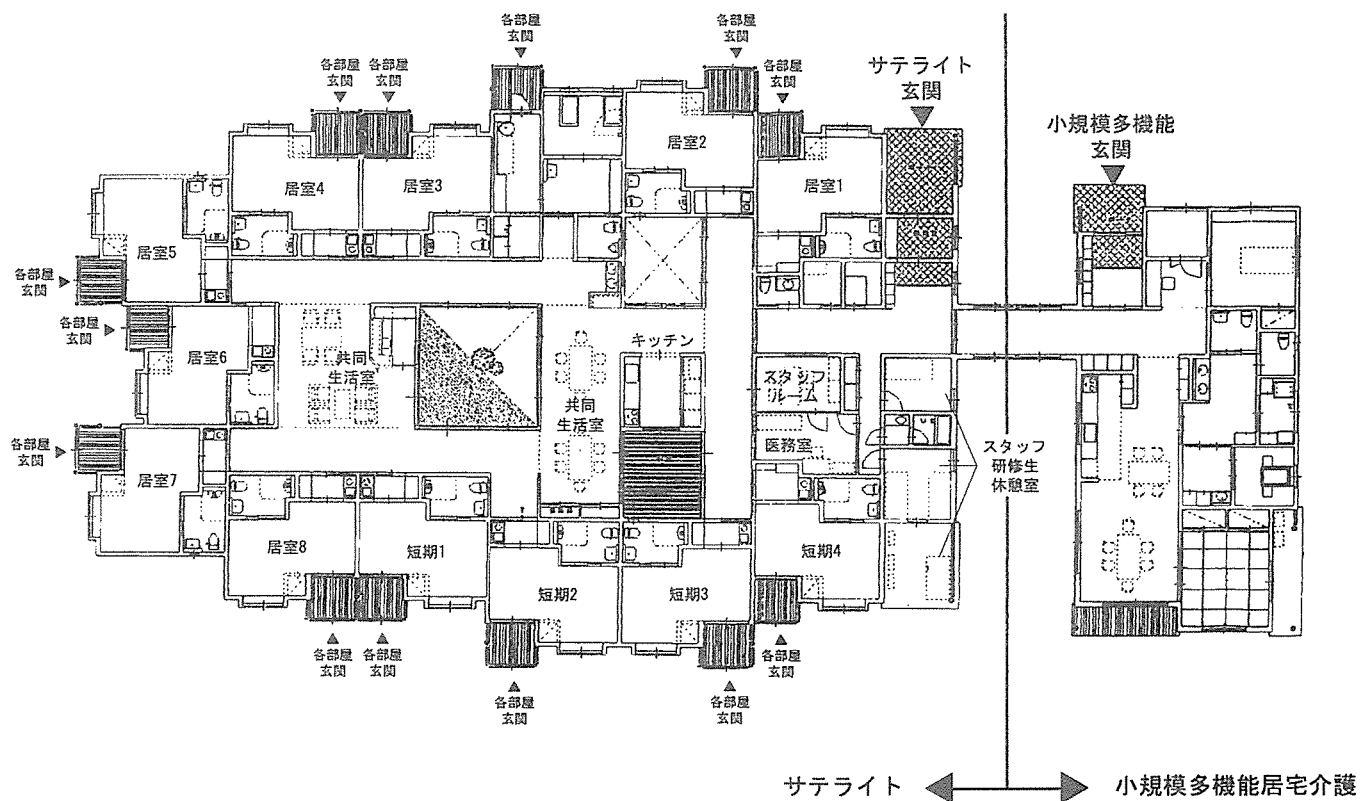
1	本体から移動した利用者の選定理由
本体からの移動人数 8人	
本体施設の入居者50名の内、真田町35名、上田町5名、青木・長和地域10名。 (青木・長和地域は上田市ではなく小県郡に属する) サテライトは真田地域にあり、主として真田の人が移った。	
2	サテライトへ移ることによる利用者の効果
家族の面会が増えた。	
3	サテライトへの移行に伴う課題(入居、家族、地域)
ホテルコストという経済的理由で移れない人がいた。	

5. 職員の選定と育成

1	本体からサテライトへ異動した職員の選定理由
本体でのユニットケアを経験したベテラン職員をサテライトのリーダーとした。その結果、本体旧館3名、本体新館1名、サテライト1名の計5名がリーダーとなった。 サテライトに出る人選は、本体に残る人とのバランスも考慮しリーダーに任せた。 サテライトを実施するにあたり常勤職員を3人増加した。	
2	サテライトを開始するまでの職員教育
サテライトにはベテランを配置し、若手の教育は本体にて行った。	

6. 小規模多機能との併設による利点

1	職員配置上の利点
夜間は小規模多機能で1名、サテライトで1名となり、2人体制になり職員の不安が軽減される。 小規模多機能とサテライトで看護職を兼務させると、サテライトと小規模多機能内でシフトを固定できる(常勤1名、非常勤1名を想定)。	
2	設備の共有化における利点
共有していない	
3	在宅機能と入居機能を合わせる利点



図表 1-16 アザレアン大畑サテライト施設の平面図 1/300

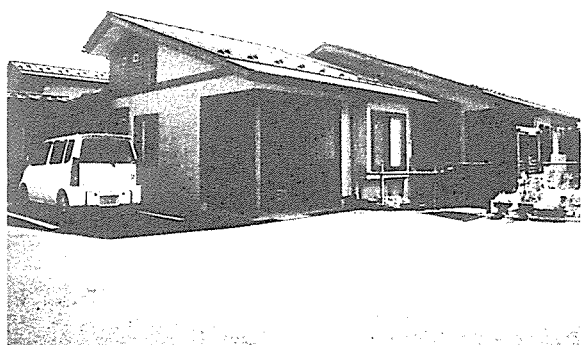


写真 サテライト外観
住宅地から入った袋小路にサテライトと小規模多機能居宅介護の玄関が並んでいる。

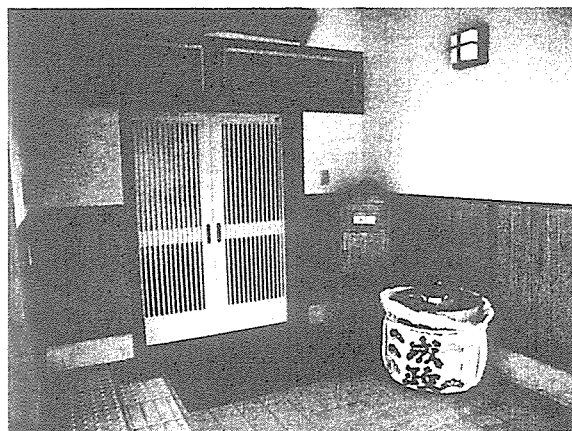


写真 サテライトの玄関
純和風の玄関。ドアを開けると広めの玄関がある。玄関には段差がある。

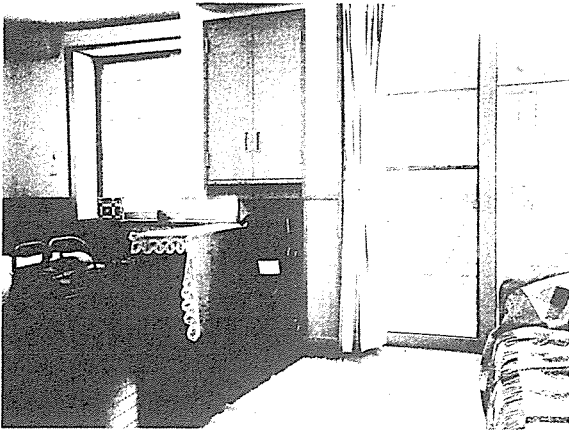


写真 居室

各居室は21㎡あり、トイレ、洗面が備え付けられている。居室は2つのゾーンにわかれており、「寝」以外のスペースがある。

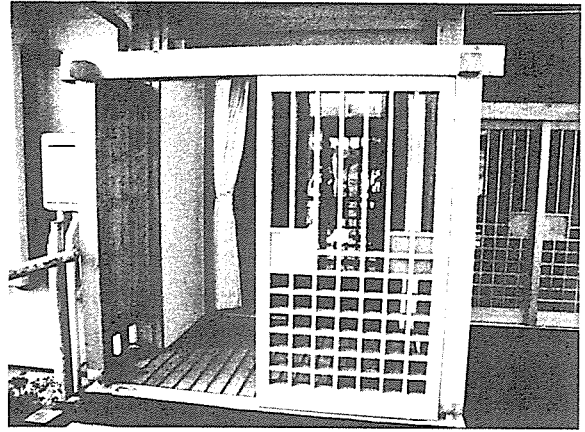


写真 居室玄関

共用玄関とは別に各居室に玄関が設けられており、直接外部との出入りが可能になっている。

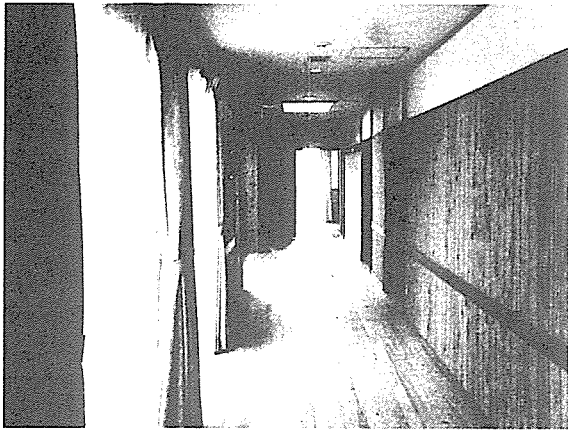


写真 廊下

回廊型の空間構成であり、廊下の一方は共同生活室、または中庭に面している。廊下幅は1.8mであるが圧迫感はない。

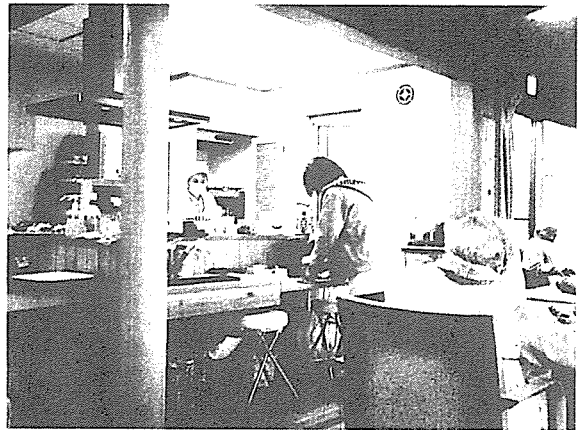


写真 共同生活室1

共同生活室に隣接されたキッチンで食事はすべて作られ、生活の中で作る→食べる→片付けるという行為が完結される。

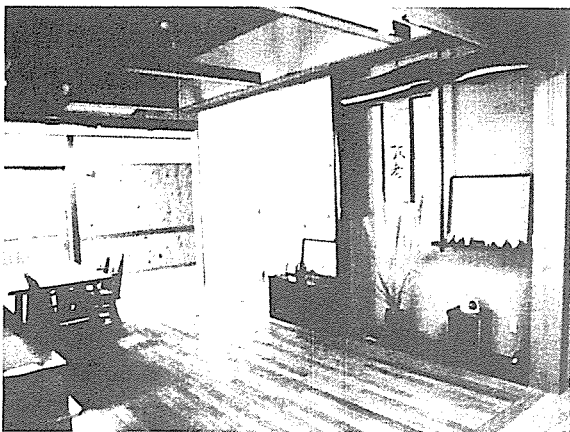


写真 共同生活室2

食事スペースとは中庭を介して、畳コーナーのある共同生活室がある。



写真 食品管理庫

本体で一括注文された食材が、直接業者からサテライトに運ばれ、食品管理庫で保管される。

1. 本体施設の概要について

1	名称	特別養護老人ホーム アザレアンさなだ
2	所在地	長野県上田市真田町長7141-1
3	開設年	1993年4月1日
4	建物階数	地上:1階
5	併設サービス	ショートステイ20名、デイサービスA型21名、デイサービスE型8名
6	敷地面積	15240.88㎡
7	建築面積・延床面積	建築面積:2366.84㎡、延床面積:3181.03㎡
8	都市計画区域区分	都市計画区域外
9	建物の構造	RC造(一部鉄骨造)
10	平均要介護度	
11	ホテルコスト	従来型個室:34,500万円(1,150円/日) 多床室:9,600円/月(320円/日)

2. 改修の全体像

本体は築13年なので今後も使用していく予定である。平成20年にサテライトをもう一つ建設し、その後に本体の改修を予定している。現在の4床室は、個室2部屋か、もしくは個室1部屋に改修する予定である。大規模改修時には完全な個室ユニットとし、中庭部分にリビング、トイレ、浴室を増築するなど、設備面も合わせて改修を行う予定である。

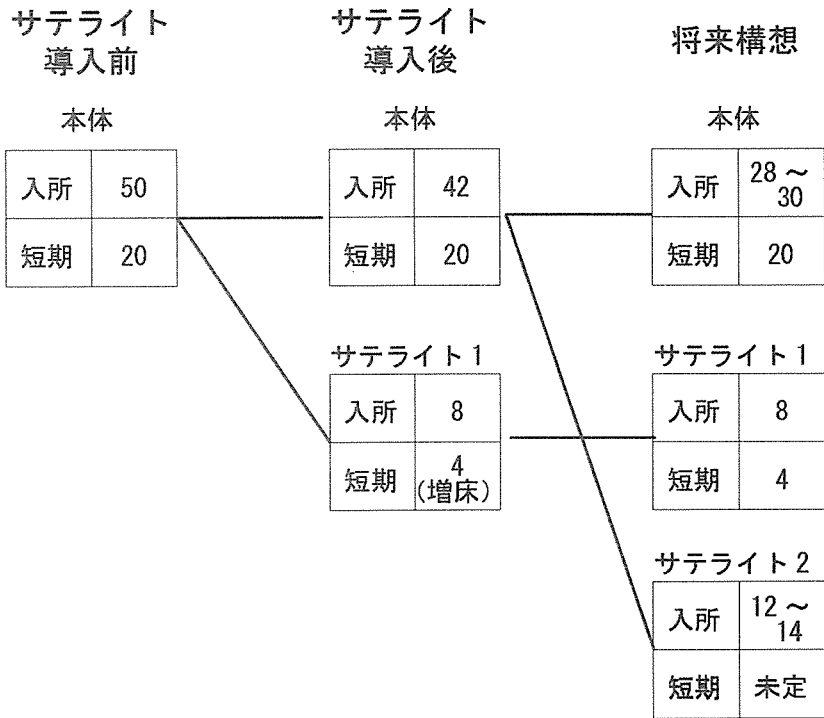
3. 改修の状況

年	内容
1997年 2006年	個室・ユニット型の新棟(10名)を増築 廊下・職員室部分をリビングとして改修(約800万円) 食堂分散、キッチンの増設を実施

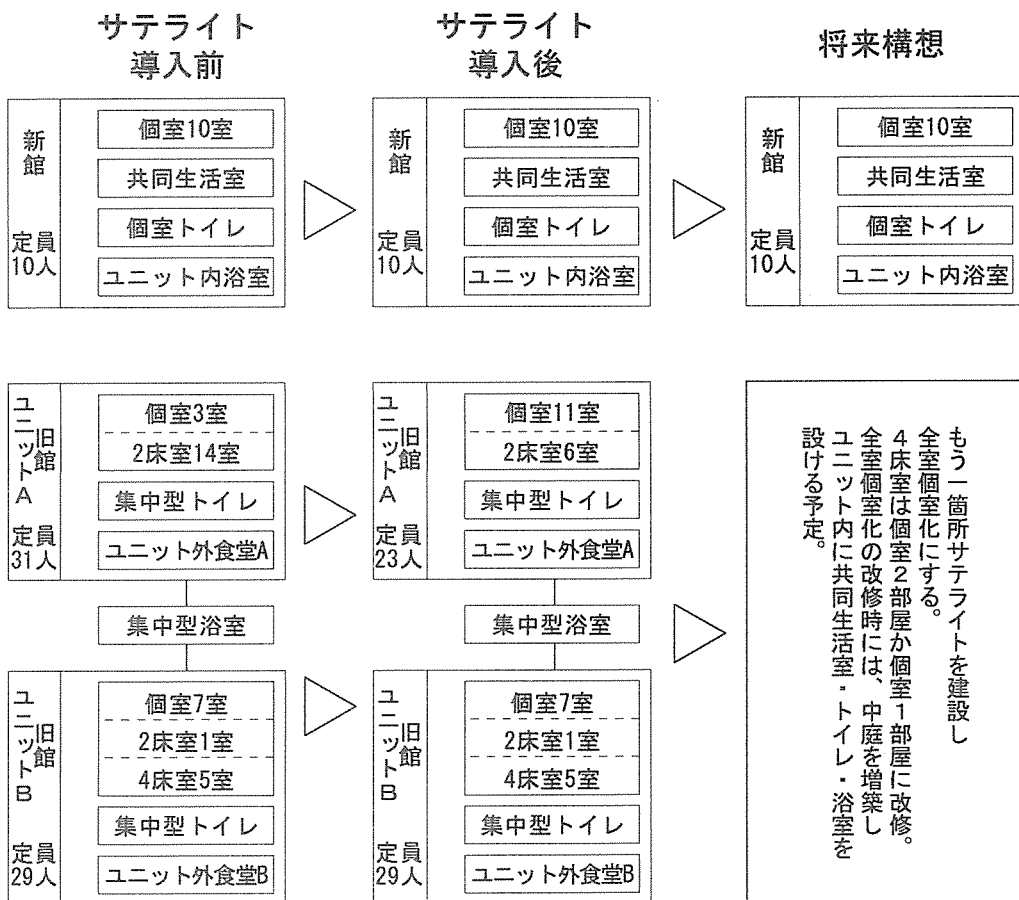
4. ソフト・ハードの概要

		改修前					改修後				
ソフト	定員	入所:50名 短期入所:20名					入所:42名 短期入所:20名				
	ユニット数	合計:3ユニット(短期入所を含む)					合計:3ユニット(短期入所を含む)				
	ユニット定員	10人:1ユニット、29人:1ユニット 31人:1ユニット					10人:1ユニット、23人:1ユニット 29人:1ユニット				
	職員配置 入居者:看護+介護職員	():1					2.1:1(サテライトも含めて)				
ハード	居室	個室1	個室2	2床室	4床室	その他	個室1	個室2	個室3	2床室	4床室
		10	10	15	5		10	10	8	7	5
	改修内容	新築部分は全室個室でトイレ、洗面あり。旧館部分の個室、2床室、4床室は洗面のみ。					サテライトへの転出に伴い旧館の2床室8部屋を個室化。個室化の各室には従来から洗面が設置されており、内装の修繕は行っていない。				
食堂	ユニット毎の有無	4ユニットのうち、新館のみ共同生活室があり、他ユニットでは大食堂もしくは広めの廊下を食堂として利用。					広めの廊下の両端をドアで仕切りキッチンを設置。スタッフルームも内装の修繕とキッチンの設置を行い食堂として利用。				

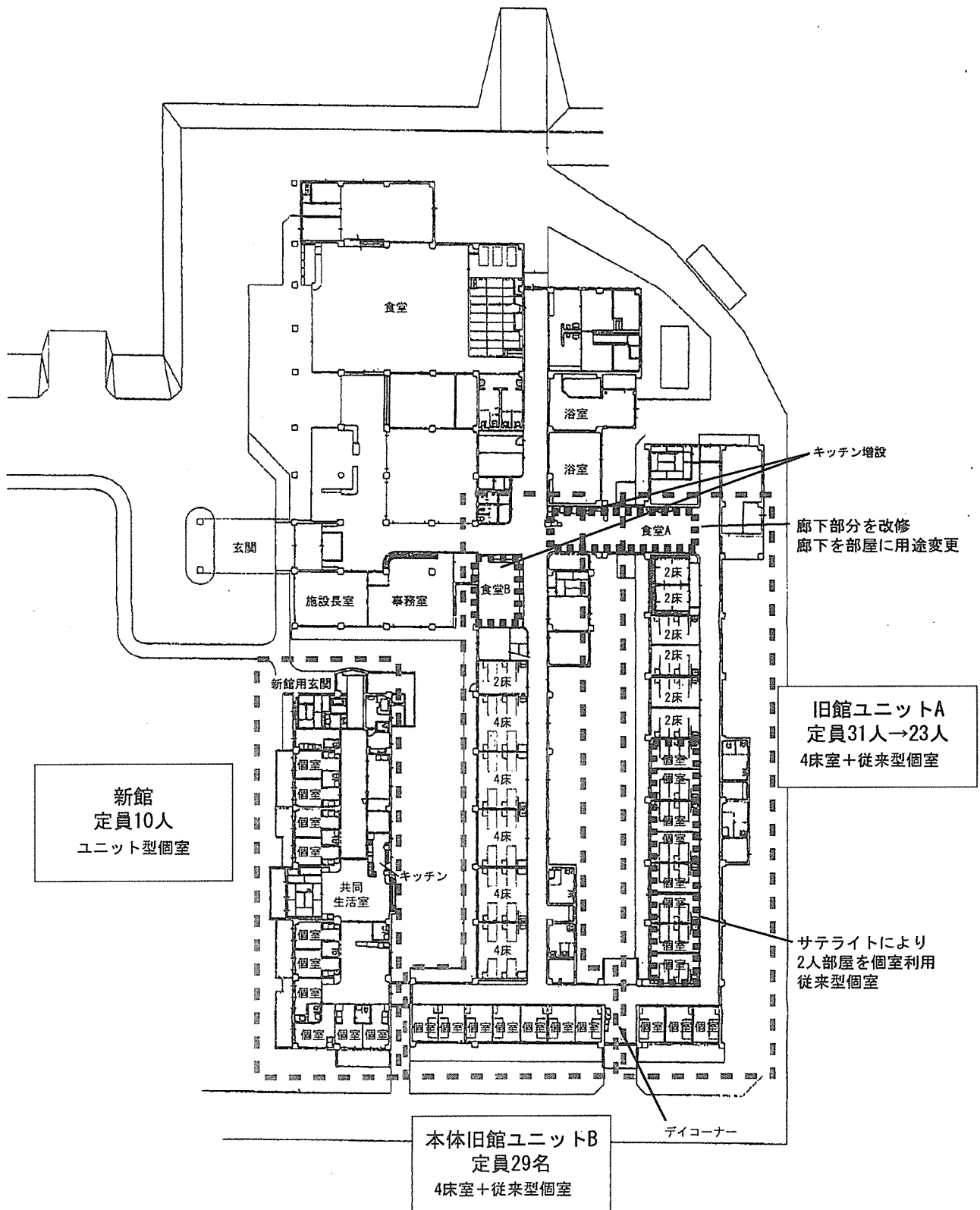
図表 1-17 アザレアン真田本体施設の概要



図表 1-18 サテライトの展開の概要



図表 1-19 本体改修の概要



図表 1-20 本体施設の平面図 1/600

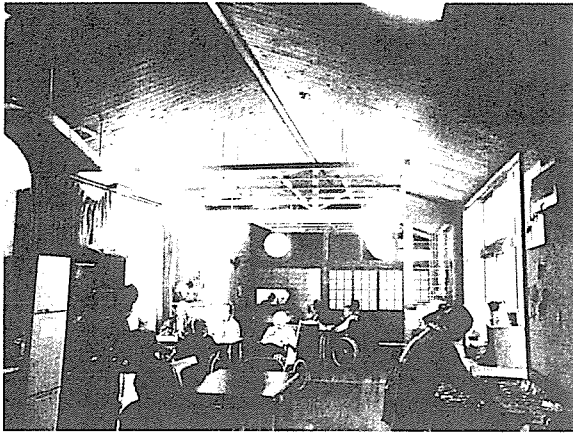


写真 食堂B

開設時は廊下であったが、内装の変更やキッチン
の増設を行い共同生活室に改修した。右図の
ユニットA、ユニットB（一部）の共同生活室
として使用されている。



写真 食堂A

スタッフルームであった場所にキッチンを増設
し、共同生活室に改修した。ユニットBの共同
生活室となっている。

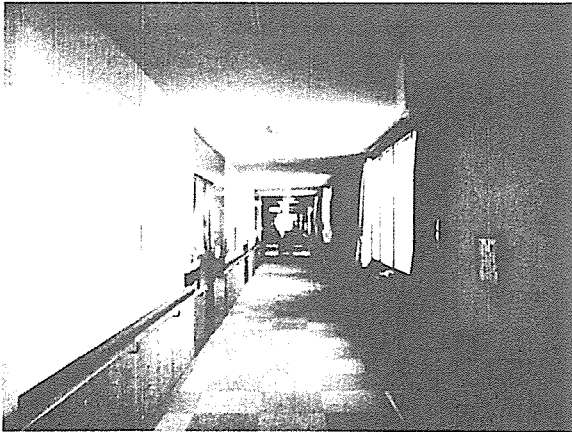


写真 廊下

廊下には骨折予防のためにクッションフロアー
が敷かれている。回廊型のため、廊下が中庭に
面しており、採光を得やすい。

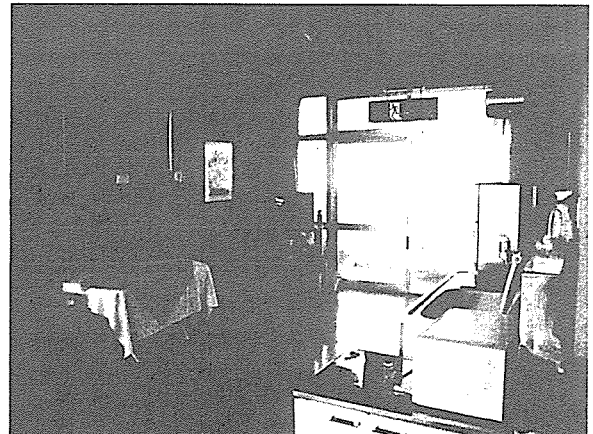


写真 デイコーナー

ユニットAとユニットBの間にあるデイコー
ナー。面積が狭い、他の共同生活室から離れて
いるなどの要因によりあまり使われていない。

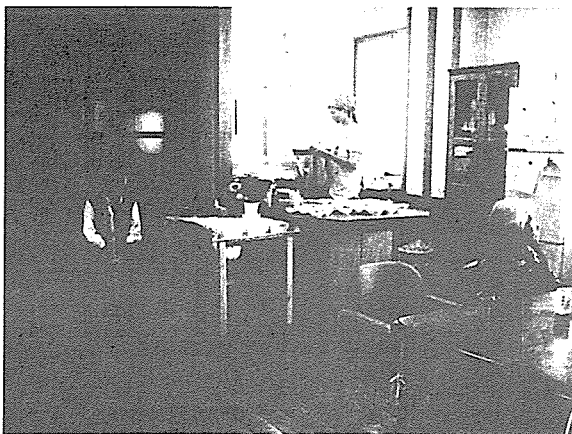


写真 共同生活室

増築されたユニット型の共同生活室。すべてが
木質できており、落ち着き感がある。

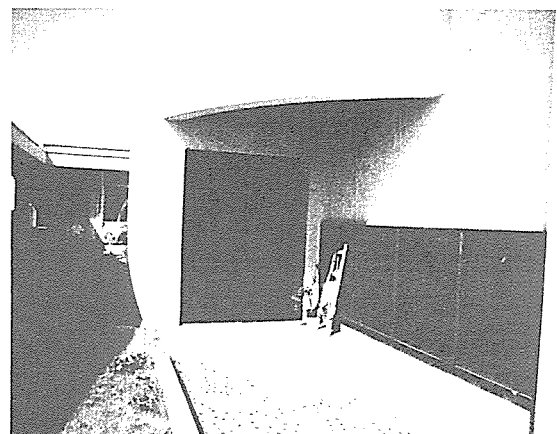


写真 外部玄関

増築ユニットから外へ直接出ることができる玄
関。建設時から、ユニットから地域への展開が
意識されていた。

調査事例 3 社会福祉法人 松涛会	本体施設名	特別養護老人ホームはまゆう苑
	サテライト施設名	特別養護老人ホーム サテライト型 新型特養 フロイデ ハイム

法人の概要

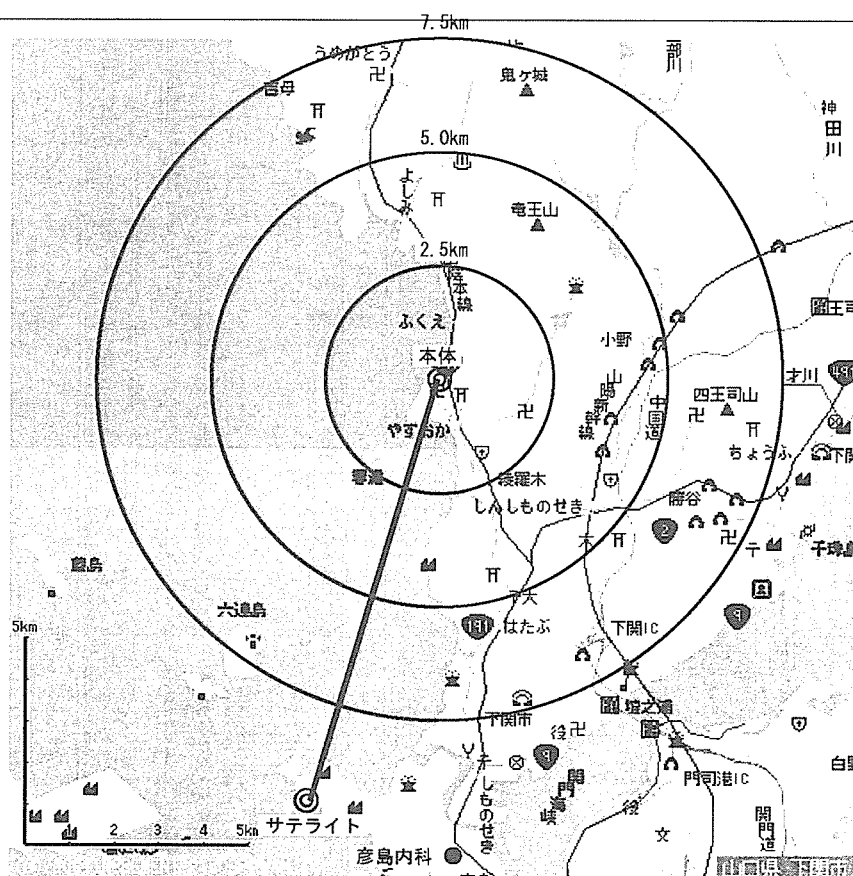
昭和35年、山口県下関市彦島地区において彦島内科としてスタートしたのが始まりである。昭和56年には、同市の安岡地区に安岡病院を開業し、昭和61年には隣接敷地内に特別養護老人ホームはまゆう苑を開設した。その後、医療面については、緩和ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、医療療養型の整備を行い、福祉面でも特別養護老人ホームの隣接敷地内に、老人保健施設、ケアハウス、グループホーム、デイサービス、生活支援ハウスなどの拡充を行っていた。

そして、平成17年には発祥地である彦島地区にケアハウス（フロイデ彦島：定員50名）、グループホーム（定員18名）、デイサービスセンター、訪問介護ステーションをオープンした。今回の調査対象施設であるサテライト（フロイデハイム）はケアハウスの駐車場として用意された敷地内に建設され、徒歩1分程度の距離にある。さらに、フロイデ彦島、フロイデハイムと発祥地である彦島内科（診療所）とは、6.6km（車で約10分）の距離にあり、彦島内科および彦島内科の近隣にある訪問看護ステーションから、医療、看護のバックアップを受けることができる。

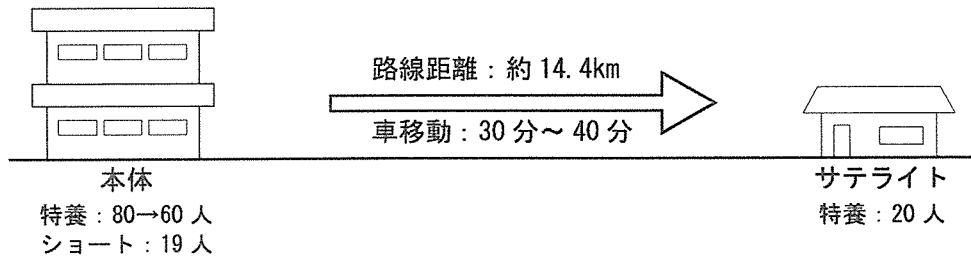
本体およびサテライトの立地と位置関係

本体は、平地にあり周辺は農業用地に指定されているために畑に囲まれている。その外には住宅地があり、幹線道路沿いには商業施設も点在している。

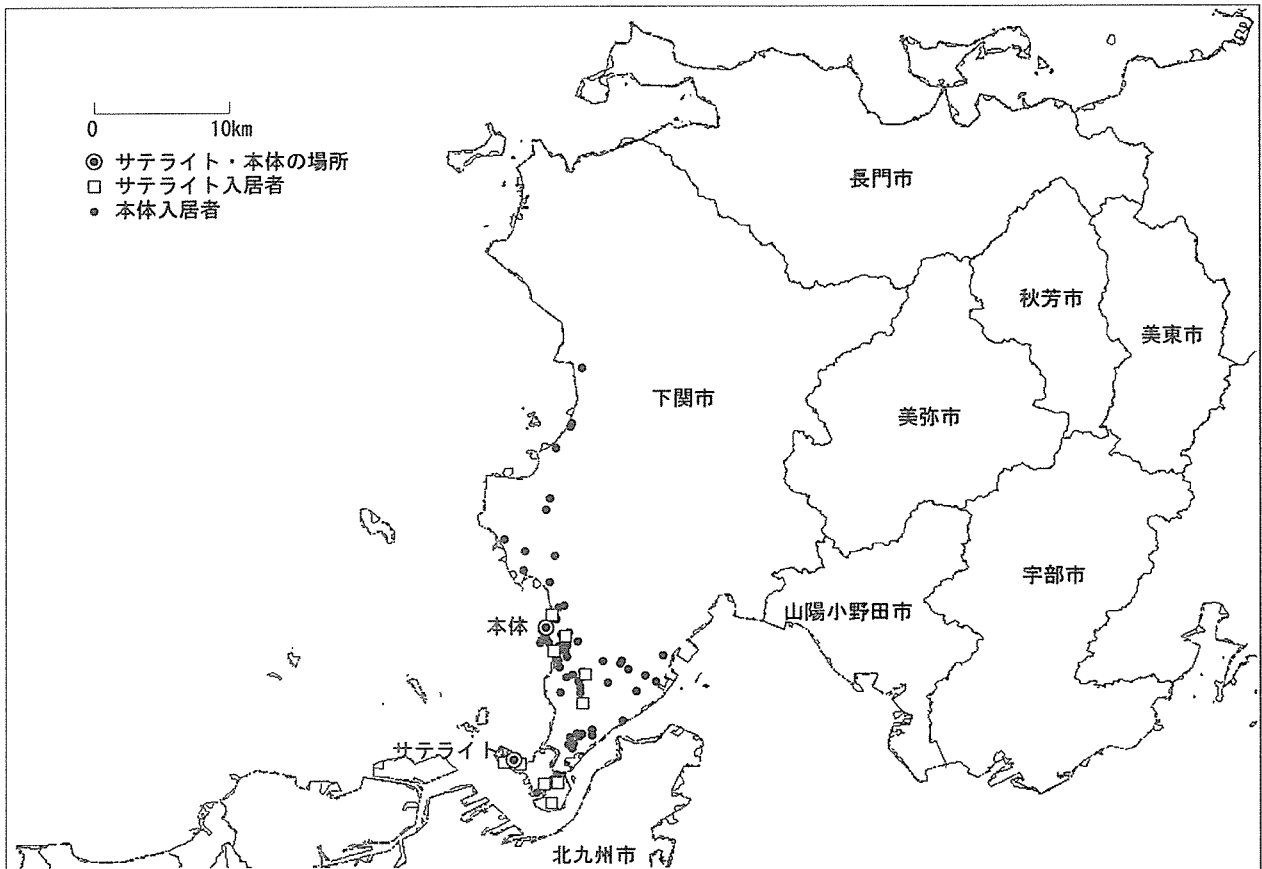
一方、サテライトは、関門海峡に面した海沿いの斜面地にあり、周辺は住宅地になっている。本体とサテライトの距離は直線距離で9.8kmであり、車で移動すると30分～40分となる。



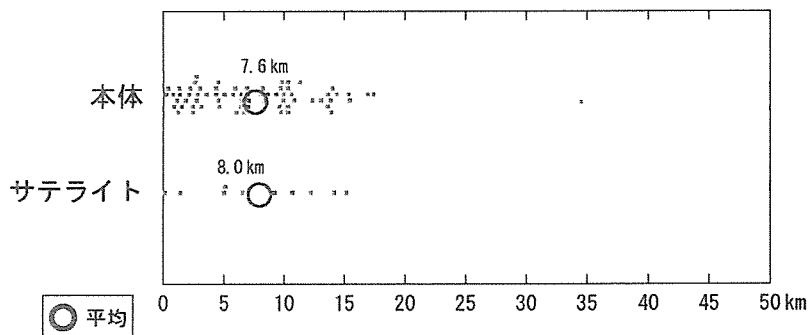
図表 1-21 本体およびサテライトの位置とその関係



図表 1-22 本体およびサテライトの距離



図表 1-23 入居者の前居住地の分布



図表 1-24 本体およびサテライトと前居住地の距離

1. サテライト施設の概要について

1	名称	特別養護老人ホーム サテライト型新型特養フロイデハイム	
2	開設年	2006年9月1日	
3	所在地	下関市彦島西山町3丁目12番14号	
4	本体との距離	路線距離:14.4km 移動時間:車30分~40分	
5	建物階数	地上:2階 (斜面地を利用しており各階に外部玄関がある)	
6	敷地面積	1606.95㎡	
7	建築面積・延床面積	建築面積:465.30㎡、延床面積:900.33㎡	
8	都市計画区域区分	市街化調整区域、建蔽率70%、容積率200%	
9	土地・建物の所有形態	土地:法人の自己所有、建物:法人の自己所有	
10	建物の構造	RC造	
11	併設サービス	なし	
12	建設費用	建設費用	約2億円
		うち交付金額	なし
	リース代	—	
	ホテルコスト	59,100円/月 (1,970円/日)	
	食費	60,000円/月 (1,500円/日)	
13	定員数	入所部門:20人	
14	平均要介護度	4.0	
15	ユニット数	2ユニット(調査時は1ユニットのみ稼動)	
16	ユニット定員	10人	
17	職員配置	入居者:看護+介護職員(相談員2名含む) 1.6:1	
18	介護職員	常勤 7人(1ユニットのみの配置、相談員2名、看護職2名、介護3名)	
19	日中の介護職員の勤務シフト	1ユニットで固定	
		明け:0時~9時 日勤:8時30分~18時15分 夜勤:16時30分~0時 早出:7時15分~16時 遅出:9時30分~18時15分 上記のシフトは各1名で、毎日相談員1名、看護職1名を配置	
20	1ユニットの職員数(標準)	朝食時:2人、昼食時3人、夕食時:2人	
21	夜勤の勤務体制	1ユニット(10名)で1名(調査時は1ユニットのみ稼動)	
22	夜勤の勤務時間	16時間	

2. サテライトと本体との協力関係

1	全般	施設長	本体と兼務
		生活相談員	サテライト専属
		事務員	本体と兼務
2	医療	医師	本体と兼務(嘱託医が兼務)
		看護	サテライト専属 毎日1名が常駐。看護職も介護シフトの中に入って介護業務を行う。
3	食事	栄養士	本体と兼務
		調理員	本体で主菜は作り、サテライトでご飯、味噌汁を温め盛り付けを行う
		調理方法	サテライトと本体と共同で作る 本体施設のセントラルキッチン(真空低温調理)で作り、サテライトのキッチンで再加熱やご飯、味噌汁を作る。 サテライトには毎日1名の調理員が常駐(9時~17時)。勤務シフトは2人。 食材は3食合わせて前日に運ばれサテライトの冷蔵・冷凍庫で保管される
4	協力上の特徴	1.看護:常に毎日1名の看護職の配置を行っている。 1ユニット単独では介護職のシフトが組めないため、看護職も介護職のシフトの中に入り介護業務も行う。 2.医療:嘱託医は本体とサテライトが同一でなければならないが、サテライトまで車で40分かかるため系列診療所(車で10分)の協力も仰いでいる。 3.調理:キザミ食はセントラルキッチンで行い、ミキサー食はサテライトで行う。 4.事務:LANを用いて本体で行う	

図表 1-25 サテライト施設の概要

3. サテライト導入の経緯

特養内の居住環境を向上させるためには個室が必要と考え、本体の定員を減らすためにサテライトの特区申請を申し込んだ。サテライトの土地選定は、既に法人が有している土地の中から選び、彦島地区にあるケアハウスの駐車場用地に決めた。ケアハウスに隣接して建設したのは、ケアハウス入居者の重度化を想定し、環境移行が少ない中で受け入れることができる施設を建設するためである。

4. サテライトへの転居が入居者・家族・地域住民に与える影響

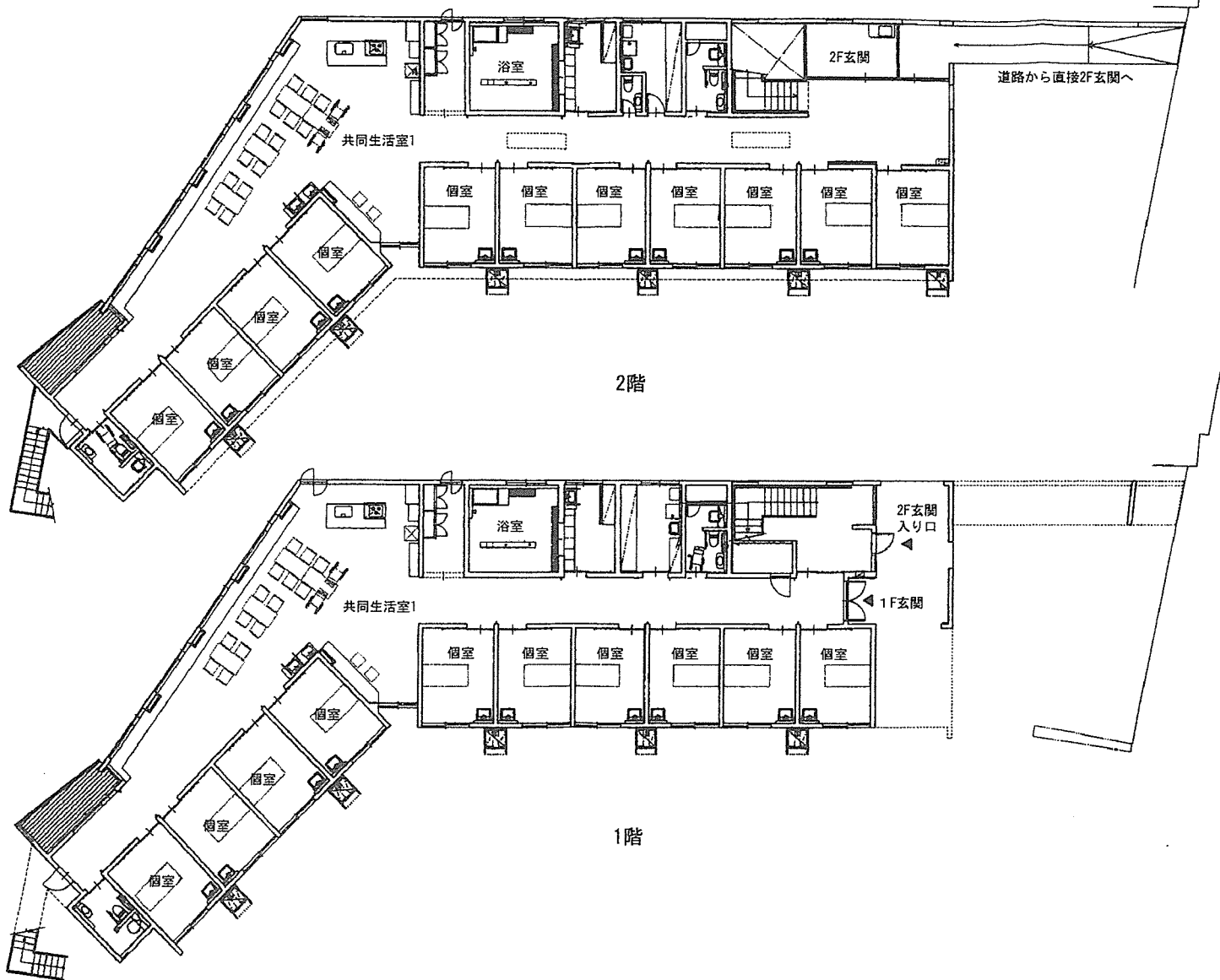
1	本体から移動した利用者の選定理由
本体からの移動人数 10人	
サテライトの立地している彦島地区の方と、家族が同地区に住んでいる人に対して優先的に入居してもらっている。	
2	サテライトへ移ることによる利用者の効果
個室・ユニット化により居住環境が向上している。家族が住んでいる地域に近いという立地と個室ユニット化の影響により、家族の面会時間が長くなっている。	
3	サテライトへの移行に伴う課題
現在、本体に入居している人の中に彦島地区に住んでいる人が少ない。 残り1ユニット(10名)については、ホテルコストを考慮した上で本体に空きができると一度、本体に入居してもらい、その後サテライトへ移ってもらうことも考えている。	

5. 職員の選定と育成

1	本体からサテライトへ異動した職員の選定理由
サテライトの職員は、指示を待つタイプではなく、自ら考え動くことができる人を選んでおり、経験のある職員を母体施設から派遣した。また、地元からの要望により近隣地区(彦島地区)からも新規採用を行う予定である。	
2	サテライトを開始するまでの職員教育

6. 他施設との併設による利点

1	職員配置上の利点
隣接地にケアハウス、グループホームがあり、安心感がある。	
2	設備の共有化における利点
3	在宅機能と入居機能を合わせる利点



図表 1-26 サテライトの平面図 1/300

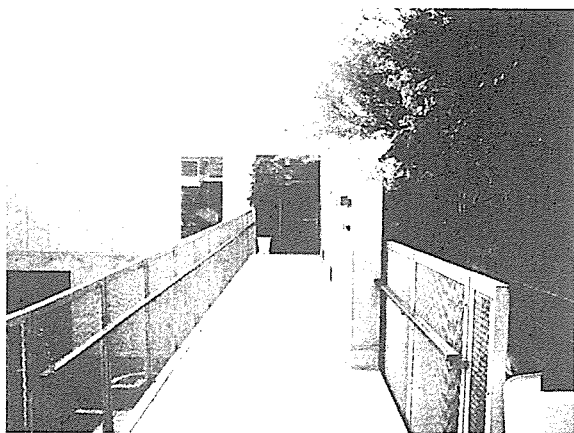


写真 サテライトの玄関
 斜面地に立っているため1階、2階の双方に外部からの入口がある。写真は2階の入口部分。渡り廊下を通して玄関に入る。

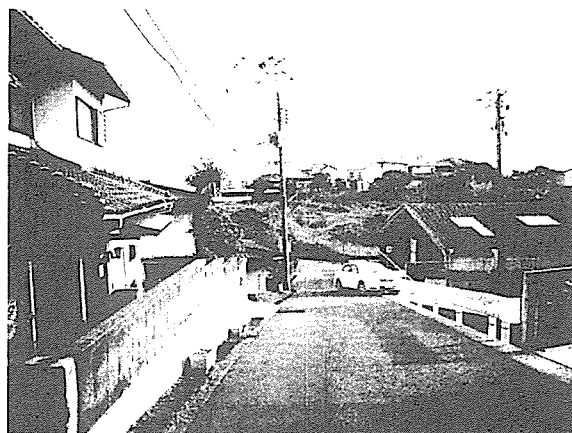


写真 サテライトの周辺
 サテライト施設の周りは住宅に囲まれている。斜面の反対側は関門海峡である。